



三菱電機パッケージエアコン別売部品

形名 PAC-SH83DM
PAC-SH84DM

天吊Kタイプドレンアップメカ据付工事説明書

※据付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家財・家財などの損害に結びつくもの。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家財・家財などの損害に結びつくもの。

- 警告** 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- 警告** お客様自身で据付工事をされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 警告** 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 警告** 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

●据付け(移設)・電気工事をする前に

- 注意** 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、濡れ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。接続部の断熱施工は気密試験後に行ってください。
- 注意** ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。据付工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1.付属部品のご確認

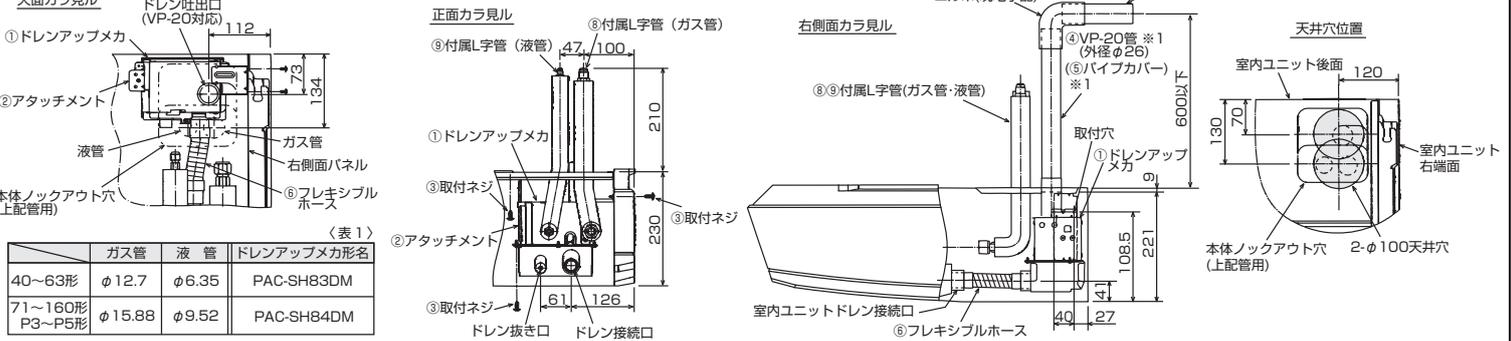
※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。

①ドレンアップメカ	②アタッチメント	③ネジ (4×10)	④VP-20管	⑤パイプカバー	⑥フレキシブルホース	⑦ファスナー	⑧L字管 (ガス管)	⑨L字管 (液管)	⑩断熱材A 6t×220×80 (内側巻付用)	⑪断熱材B 3t×250×120 (外側巻付用)
×1	①ドレンアップメカ 取付用金具 ×1	①ドレンアップメカ 取付用 ×6	×1	④VP-20管 断熱用 ×1	断熱材付 ×1	×1	×1	×1	⑧L字管と現地 配管断熱用 ×2	⑨L字管と現地 配管断熱用 ×2

2.ドレンアップメカ取付け状態図

このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取付けて使用するものです。
 ・ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取出口となります。
 ・ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り上げ前に行なう方が容易にできます。

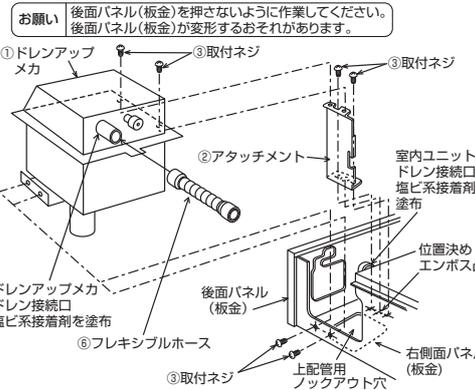
※1 揚程が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地で手配してください。



3.ドレンアップメカ取付け

※ドレンアップメカのフレキシブルホースの取付けはドレンアップメカを室内ユニットに取付ける前に行ってください

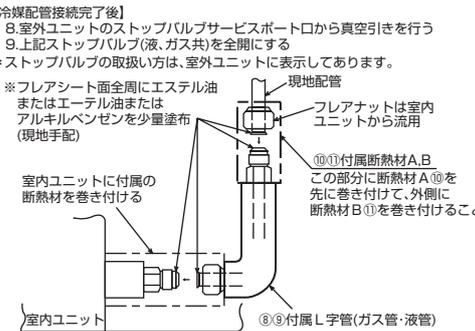
- 吸込グリルとサイドパネルを取外す(室内ユニットの据付工事説明書を参照)
- 室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
- 付属アタッチメント②を取付ネジ③(2本)で固定
- ドレンアップメカ①のドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布して、付属フレキシブルホース⑥を根元まで差し込む
- 室内ユニットのドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布して、フレキシブルホース⑥をねじれのように差し込みながら、ドレンアップメカ①を組み合わせ
- ドレンアップメカ①を取付ネジ③(4本)で固定



4.冷媒配管工事

※配管手順詳細は、室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書を参照ください。

- 【室外ユニットのストップバルブは全開のまま】
- 付属のL字管(ガス管・液管)⑧⑨のフレアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
 - 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す
 - 室内ユニット側接続部のフレアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
 - 付属のL字管(ガス管・液管)⑧⑨を素早く接続
 - 現地配管に取外したフレアナットをはめてフレア加工する
 - 現地配管と付属L字管も同様に接続する
 - 各接続部に断熱材を巻き付ける



7.試運転

※試運転により排水が確実に行なわれていること・各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

※室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。

- 注水作業
吹出口よりドレンパンに約1リットル注水する

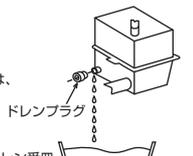


2.試運転

- 電源を入れる
- リモコンの 試運転 ボタンを2度押す
- リモコンの 運転切換 ボタンを押して冷房にする
※ドレンアップメカが動作して排水します
- 排水確認する
- リモコンの 運転/停止 ボタンを押して試運転を解除する
- 電源を切る

3.確認後、部品をもとどりに取付ける

- ※暖房シーズンにドレンアップメカを取付けた場合は、必ずドレン抜きを行なってください。
- また、ドレン抜き完了後はドレンプラグをもとどりに差し込んでください。



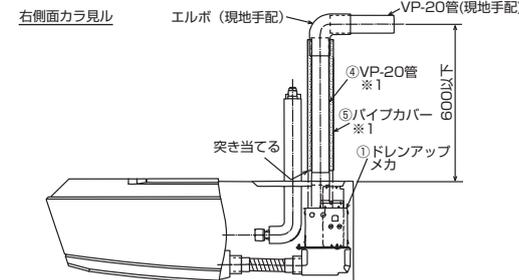
5.ドレン配管工事

※1 揚程が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地で手配してください。

※配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。

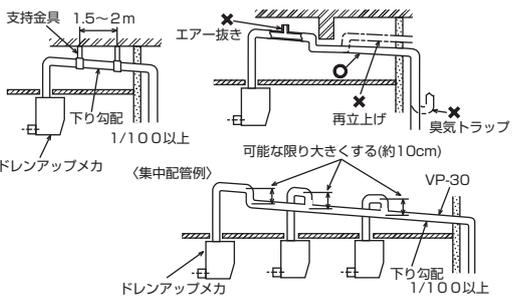
- 付属VP-20管④を下り勾配(1/100以上)としてください。差し込む(差し込み時 30mm)※1
- 付属VP-20管④と現地ドレン配管を90°エルボ等を使用し接着固定する
- 付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く※1

※ドレンアップメカ立ち上げから外部に至る横引きの間で、ドレン配管は全て十分な断熱を施してください。



【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】

- ・ドレン揚程は、600mm以下としてください。
- ・排水側(室外側)が下り勾配(1/100以上)としてください。
- ・途中にトラップや山越えを作らないでください。
- ・横引きは、20m以下としてください。
- ・また、途中に支持金具等を設けて液打ちを無くしてください。
- ・エア抜きは、絶対につけないでください。ドレンが吹き出るとおそれがあります。
- ・硬質塩ビパイプ一般管VP-20(外径φ26)を使用し、接続部は塩ビ系接着剤を塗布して漏れのないようにしてください。
- ・市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03・肉厚9mm以上※)を巻いてください。
※中温用天吊タイプの場合、天井内は肉厚15mm以上
- ・排水口の臭気トラップは設けないでください。
- ・配管の出口は、臭気の発生するおそれのない場所としてください。
- ・配管は、イオウ系ガスの発生する下水溝に入れないでください。
- ・集合配管はVP-30程度としてください。また、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。

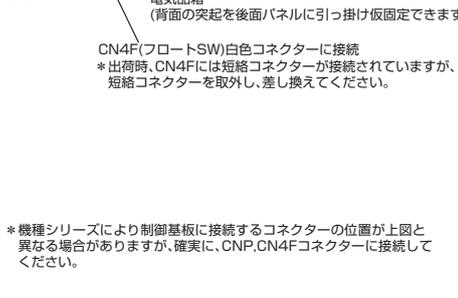
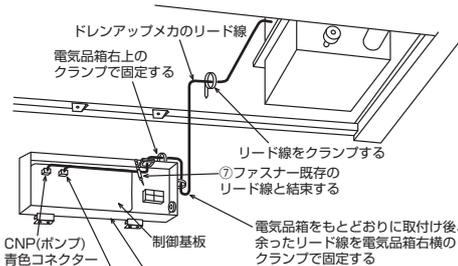
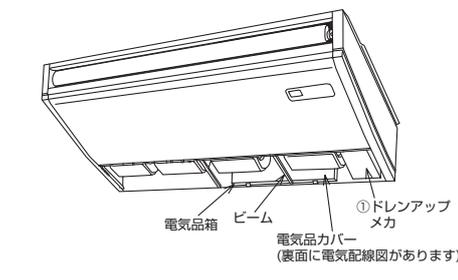


6.電気配線工事

※室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。

※電源がOFFであることを確認して作業してください。

- ビームを取外す
- 電気品カバーを取外す
- 電気品箱を下に引き降ろす
- ドレンアップメカ①のリード線を、室内ユニット制御基板のCNP,CN4Fコネクタに接続する
- 電気品箱内でリード線がばらつかないように付属のファスナー⑦で結束する
- 電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビーム等をもとどりに取付ける



※機種シリーズにより制御基板に接続するコネクタの位置が上図と異なる場合がありますが、確実に、CNP,CN4Fコネクタに接続してください。